

伊那民報

題字
山口昭七氏

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那



「戦争法案」の廃案必ず！

廃案を求める伊那市民の会を結成

安倍政権が国民多数の反対の声を無視し、強行しようとしている戦争法案の廃案を求めて伊那市内でも、九条の会伊那市連絡会をはじめ地域の「会」などが、いろいろな活動を繰り広げています。そんな中、市議会に廃案を求める意見書を国に提出してもらおうとの趣旨で、12日、『「安全保障関連2法案」（戦争法案）の廃案を求める伊那市民の会』（代表・建石繁明さん、事務局長・横田美男さん）が結成されました。

9月議会に
2千人以上の署名を

市民の会は、9月の伊那市議会に国に「安全保障関連2法案（戦争法案）の採決強行をやめ、廃案を求める意見書を提出」するよう市議会に求める請願署名に取り組み、20日、市議会議長に第一次分を提出しました。9月10日を目前に、2000人以上の署名を集め、提出したいとして、市民のみなさんに協力を呼びかけています。

（連絡先 横田

☎954325）



中央区交差点で大宣伝

九条の会伊那市連絡会



横断幕やポスターを掲げて宣伝する会員

九条の会の会伊那市連絡会は、

竜東九条の会が発足！

8月8日、中央区公民館において「竜東九条の会設立のつどい」が行われ、35名が参加し「会」が発足しました。

竹入弘元さん、呼びかけ人の久保田誼さんらによる戦争体験談や情勢報告がなされた後、会の活動方針、体制の確認、緊急アピールの採択などが行われました。今後、同会では書家の池上信子さんが揮毫した文字ポスターの張り出し、戦争法案反対署名、会員拡大、9条募金などに取り組み、竜東地域から戦争法案反対！

9条守れ！
の声を大きくして
いききたい
と話して
います。



早速ポスターを張り出す竜東九条の会会員

19日午前7時から中央区交差点で「戦争法案」廃案を呼びかけた大宣伝行動を行い約30人が参加しました。看板や横断幕「NO！戦争法案」「アベ政治を許さない」などのポスターを掲げてアピール。出勤途中の50代の女性からは「戦争は困ります。もっと大きなポスターで宣伝して」の激励があり、車の中からも会釈や手ぶりなど多くの反応がありました。

地蜂

米国の映画監督が戦争法案を批判した。ベトナム戦争など米国が他国支援の名目で集団的自衛権を行使した例を挙げ「解釈次第で全部その枠内に入ってしまう歯止めがきかなくなる」と危険性を指摘した。そして「首相が何を狙っているのか市民は十分理解している」と分析▼すでに自衛隊が米軍の作戦に参加していることをヘリ墜落事故は物語る。奇弁と妄言を並べているアベ内閣こそ売国奴・非国民に映る▼この春からの行動で多くの市民と対話できた。学徒動員、集団疎開、満州からの死の逃避、食糧難を回顧する。☆伊那高女から学徒動員で名古屋の工場で働いて空襲被害の花嫁学校だったが学徒動員、豊川海軍工廠では連日の機銃掃射のあと大空襲で逃げのびた。☆姉は挺身隊、兄は東京帝大から学徒動員で戦死など女性の悲劇を多く聞いた。戦後70回目の夏はマスコミで被害者としての報道ばかりではなく加害者としての勇氣ある証言が目を引き▼反戦一筋93年の日本共産党や民主団体・戦争体験者から始まった戦争法案反対の闘いはいま若いお母さんや学生・若者の参加が際立つ。市議会に戦争法案廃案を求める請願の署名で平和を愛する市民の態度を示し、市議会が廃案を決議させようではないか。（E・K）

長谷に「九条の会」結成！

8月23日、溝口溝友館に18名が参加し、平和と9条を愛する長谷の会を結成しました。

世話人6名を選出し、参議院での審議入りなどさし迫った情勢を受け、「戦争はもういやだ、憲法9条を守ろう」の看板を作り、街頭宣伝に打って出たいとしています。

「戦争法案を廃案に！」

ーこの声、国会に届けー

8月2日、松本駅前で1200人余の集会とパレードが行われました。また、伊那では、28日、実行委員会の主催でセントラルパークで「戦争法案を廃案に8・28上伊那ピーアクション」が行われました。

「大太坊」の太鼓演奏の後、宮下与兵衛さんの情勢講演と参加者からのリレートークがあり、アピールを採択して、伊那北駅までパレード。この声、安倍首相に届けとばかりにアピールしていました。



身近にあった戦争の加害と被害

平和のための信州・戦争展

「平和のための信州・戦争展」が8月15日・16日の両日、県民文化会館で開催され延べ500人が訪れました。

この戦争展には戦時遺品、朝鮮人の強制労働や謀略機関「登戸研究所」に関する資料、当時の反戦運動の記録資料など多数が展示された。

また、15日は「本土決戦」と上伊那」と題して



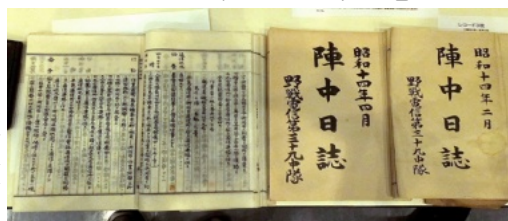
戦争展示品に見入る参加者

伊那市上の原にあった旧陸軍の伊那飛行場をめぐる話を元高校教諭の久保田誼さんが講演。16日には「731部隊の体験証言」として、旧満州国で細菌兵器や毒ガス兵器の研究製作をしていた関東軍の第731部隊での残酷な体験を伊那市の北原忠義さん（84歳）が報告。北原さんの所

属した部署は、

中国人捕虜などにペスト菌を感染させて生体実験をし、最後にはみんな殺してしまう非人道的なことが平然と行われていたという事です。

また「陸軍登戸研究所」についての調査報告も行われました。



昭和14年の「陣中日誌」

平和音楽会

「戦争は許さない！」歌の力で

8月の恒例行事、平和音楽会に出演した宮下さん（男性）に感想をお聞きました。

8月9日に行われた「平和音楽会」には250人が入場してくれました。毎回、平和を願う様々な出演者の発表に感動させられます。1回目から、長崎の被爆者渡辺千恵子さんの語り部としての半生を組曲とした『平和の旅』を合唱しています。年々レベルアップしている合唱団

第3回 商工フェア賑やかに

8月23日、上伊那民主商工会は、いなっせ北側広場と屋内施設で「商工フェア」を繰り広げました。木工や壁塗りの体験教室をおこない、さまざまな業種が集まっている青年部員の仕事をアピール。商店街の活性化につなげようと開催しました。多くの親子連れが訪れて、普段、家庭ではできないいろいろな体験を楽しくしました。



組曲「平和の旅」を歌う合唱団員

で、観客の皆さんからの「感動した」「良かったよ」という声に励まされます。平和の大切さや感動を届けることが出来て良かった、としみじみ感じた音楽会でした。

被爆70年 核兵器の廃絶へ 「平和のいのり」に60人

「第29回伊那市民平和のつどい」の一環の「平和のいのり」が8月6日、山寺の丸山公園で行われ、市民ら約60人が参加しました。

これは市民有志がつくる「非核平和都市宣言をさらにすすめる伊那市民の会」が主催したもので、70年前に原爆が広島に投下された午前8時15分、防災無線のサイレンに合わせて黙祷をささげました。

被爆70年に合わせて広島市から贈られた被爆アオギリの苗木を



被爆の木「アオギリ」の苗木を植える常圓寺の角田泰隆住職

「会」の役員らが公園に植樹しました。

建石繁明同会運営委員長は「核兵器は人類と共存できない。核兵器がなくなるまで続ける」、また、安全保障関連法案について「憲法学者が憲法違反と言っている。こんな法案は廃案に」と呼びかけました。

平和映画祭

「アオギリにたくして」

感想

西箕輪 宮下圭子

戦争と「ピカ」によって、奪われた希望や愛、生きようとすめる力。これほどの苦しみや悲しみのなか、それでも、「アオギリのようにしか、生きることができない」と、未来に向かって語り続けた田中さん。黒焦げのアオギリから待ちに待った「芽」を見つけた時の感動とともに、その壮絶な人生を胸に焼き付けました。許すまじ原爆を、戦争を。



買い物弱者対策は オール市役所で

前沢 けい子

先日社協主催の「買い物弱者に関する報告と意見交換の会」が市役所で開かれた。

市職員、議員、出張販売関係者、報道、一般市民などで501号室は満席。この機会を作ってくれた社協に感謝です。買い物弱者への対面調査、沖縄の

共同店舗の視察を経て、伊那市に於いて「ただ買い物ができれば良いのではない。地域のコミュニティをどう作るかの問題。対策はオール市役所で」と訴えている。

これまで一般質問でまちづくり課の提案や、公共交通の専任担当者の必要性を訴えてきたが、動きはない。税金を集め、情報も一番持っている伊那市は社協の提案にどう対応するのか。3日間行われた市民と議会との意見交換会でも、まちづくりに関する意見が出た。議会の対応も問われる。

朝立ち宣伝に激励
週刊いな（ミニコミ誌）8月6日号に掲載されました。紹介します。

「NO! WAR」伊那市内を車で走っていたら、橋の手前に十数人の人が、何事かと思つてよく見ると、手に「NO! WAR」（戦争反対）のカード。とっさの事だったので、手を振ることもクラクションを鳴らすこともできませんでした。とても感動しました。（伊那市・60歳・ハイジ）

シリーズ

フロア & ぷろ

26

平和運動を思う

建石繁明

第27回「平和のための信州戦争展」も、8月15・16日に約500人の来場者を迎えて終了しました。皆さんのご協力に感謝します。

メインテーマは「本土決戦と上伊那」。陸軍伊那飛行場の歴史と、ここで行われた伊那谷住民の戦時中の体験を知ることができ、私たちも歴史的な事実をリアルに学ぶことができました。平和ゼミ運動を担っている高校生の参加に、平和運動の明るい未来も感じました。これに関連して、昭和22年に文部省が発行した『新しい憲法のはなし』（当時の中学1年生の教科書）が注目され、多くの人が購入していました。その中の一人の女性は「安倍内閣の議員さんにも是非読んでもらいたいですネ」と話していました。

現在の教育の貧困Ⅱ自分の頭で考え、自分のハートで行動できる人間を育てないⅡを克服するためには、政治的教養を獲得させるために、(1)民主主義政治や基本的人権に関する基本的な理解、(2)現実の政治についての学習的接近、(3)子どもたちの自治を進展させ、民主主義と人権に立った自治と共同、すなわち子ども自身の政治を進展させることの3点が不可欠だと思います。そしてそれは、われわれ大人にとっても同様に必要なことだと思います。

「平和のための信州戦争展」が、この点に関してどれほどの貢献があったのか評価することはできませんが、それは、伊那谷における平和運動の進展によって明らかになっていくものと思います。

随想

国会が私を呼んでいる

東春近 怒れるこゝみ(仮名)

7月15日、抗議のため国会に向かう途中で、衆議院特別委員会において「戦争法案」が採決されたことを知りました。予想していたこととはいえ怒り爆発。その足で議員会館に行き、藤野保史議員に「戦争法案廃案」の請願署名を手渡しました。国会前は、怒れる人々でいっぱいでした。プラカードを持って無言で立ち続ける人々。大きな声で「戦争するな」と叫び続けている人々。国会の周りをぐるぐる回る「強行採決反対」のポスターを張ったたくさんの車。カッコいいSEALDsの若者達。

7月24日、日比谷公園での「首相官邸包囲集会」にも参加しました。集会は、NORE BRIGHT ADEのマーチングで開始されました。辺野古で米軍基地に反対する人々、原発再稼働に反対する人々、労働法改悪、TPP、消費税増税に反対する人々、ヘイトスピーチを許さない人々など、みんなで力いっぱい「安倍政権NO!」のコールを繰り返しました。

「安倍ファシスト政権」は、もうたくさんです。早く退散してもらいたいです。みなさんも一緒に国会へ行きましょう。30日には国会を30万人で包囲しましょう。安倍政権NO!

催し案内

☆ 党創立93周年記念レセプション

9月5日(土) 午後6時～8時

駒ヶ根駅前アルパ3F

会費 1500円

主催 党上伊那地区委員会 (72-2465)

☆ さわやかウォーキング

9月8日(火) 午前9時50分

JA手良支所集合

主催: 上伊那医療生協健康づくり委員会

連絡先 医療生協組合員センター (79-8702)

☆ 第10回太陽光発電裁判(結審予定)

9月9日(水) 午後1時30分～

長野地裁伊那支部

連絡先 支援する会 (96-0224)

☆ 飯島光豊後援会マレット大会

9月12日(土) 午後1時集合

東春近マレットゴルフ場

懇親会 3時半～JAコミュニティホール

会費 2000円

雨天の時 懇親会のみ12時～

主催 飯島光豊後援会

連絡先 市川 (73-2928) 渡辺 (72-4748)

飯島 (72-8487)

風物詩

振り万灯 (上新田)



お盆におこなわれる迎え火、送り火の伝統行事。麦わらを束ねたものに縄を結び火をつけ、子どもたちがグルングルンと振り回します。

出典『上伊那たずねある記』(JA上伊那)

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日 午後6時～6時半

いなっせ北側広場

主 催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

(79-8702)

9月4日: 富県

11日: 美篤

18日: 竜西・長谷 25日: 竜東・高遠

お詫びと訂正 前号4面の随想記事で、「米軍輸送機B29」とあったのは、「米軍爆撃機B29」の誤りでした。

お詫びして訂正いたします。B29は、1万mもの高空を長時間、戦闘機が飛べない夜間でも爆撃できる爆撃機でした。